

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング
【施策番号 24160：海洋・極限環境生物圏研究（文部科学省）】

- 1 日時：平成 22 年 9 月 10 日（金） 17:00～17:30
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 2 階 第 3 特別会議室
- 3 聴取者：白石議員、奥村議員
外部専門家 6 名（うち若手 2 名）
内閣府 梶田審議官、大石審議官、廣木参事官
- 4 説明者：文部科学省 研究開発局海洋地球課 堀内課長
（独）海洋研究開発機構 海洋・極限環境生物圏領域
大河内プログラムディレクター 他

5 施策概要

海洋の多様な生物、生態系が有する特殊・固有な機能を把握するとともに、生物の機能、環境と生物の相互関係、生物の多様性と進化についての研究のため、海洋中・深層、海底の熱水域、深海底、海底地殻内等で生物の探索、特徴的な生態系の調査研究を行う。

6 質疑応答模様

【外部専門家】

海洋環境・生物圏変遷過程に関する研究について、JAMSTEC の気候変動担当グループとの連携は図られているか？

【（独）海洋研究開発機構】

地球シミュレータで予測研究を実施している部署で、過去の環境をシミュレーションするグループとの連携を行っている。

【奥村議員】

JAMSTEC の年間の運営交付金と、船などの運航経費をお教えいただきたい。

【（独）海洋研究開発機構】

運営交付金を含む事業費が約 400 億円。地球の運行経費が約 100 億円、その他の船の運航経費が約 100 億円、地球シミュレータが約 50 億円、研究費が約 50 億円である。本施策の 7.9 億円のうち、研究者の人的費が約半分である。

【外部専門家（若手）】

どれだけ調査すれば見たいものが見られるか？あと何年かかるか？

【（独）海洋研究開発機構】

日本周辺のみを調査対象にしており、年に 1 カ所の新しい調査域で調査を行っている。

【外部専門家】

「平成 23 年度の主な事業」の ~ がやや細切れの印象である。海洋と極限と生物がどのようなインタラクションで進化がどう行われているのか？生態系や生理の全体イメージを 5 年でどうまとめるのか？

【(独) 海洋研究開発機構】

熱水・湧水系は JAMSTEC が一番データを持っているので、まずはデータベースを整備することから着実に始めていく。海洋生態系全てを JAMSTEC だけで見えていくことは難しいため、データベースにより研究者のネットワークを形成することで進めていきたい。

以上